2018年度

(公財)愛知大学教育研究支援財団 奨励賞授与式

後援会奨励賞　同窓会奨励賞　クラブ愛知賞　資格試験合格者奨励賞

愛知大学 公務員試験合格者奨励賞授与式









日時｜2019年３月２日（土）11:00～12:30
場所｜車道校舎　本館３階　コンベンションホール

プログラム

一．開式
一．挨拶　(公財)愛知大学教育研究支援財団 理事長　加藤満憲
一．挨拶　愛知大学 学長　川井伸一
一．後援会奨励賞
　選考結果報告　愛知大学 学生部副委員長　印南敏秀
　奨励賞授与　愛知大学後援会 会長　山田哲也
一．同窓会奨励賞
　選考結果報告　愛知大学同窓会 広報委員長　八木好郎
　奨励賞授与　愛知大学同窓会 会長　土井義昭
一．クラブ愛知賞
　選考結果報告及び授与　クラブ愛知 会長　服部晋吾
一．愛知大学公務員試験合格者奨励賞
　試験結果報告
　　愛知大学 キャリア支援センター
　　委員長　吉川　剛
　奨励賞授与
　　愛知大学 学長　川井伸一
一．受賞者代表謝辞
　公務員試験合格者奨励賞受賞者 代表
　後援会奨励賞受賞者 代表
　同窓会奨励賞受賞者 代表
一．閉式

愛知大学 AICHI UNIVERSITY

公益財団法人 愛知大学 教育研究支援財団

2018年度　後援会奨励賞受賞者一覧

◆スポーツの部〈団体〉　優秀奨励賞（5団体）

団体名	顕彰事項
ゴルフ部	中部女子学生ゴルフ春季大学対抗戦　2位 第41回全国女子大学ゴルフ対抗戦　出場 中部女子学生ゴルフ秋季大学対抗戦　兼　信夫杯予選　1位 第19回信夫杯争奪日本女子大学ゴルフ対抗戦　出場
少林寺拳法部	第54回少林寺拳法東海学生大会　総合優勝
ライフル射撃部	第37回中部女子学生スポーツ射撃選手権大会　10m エアライフル女子立射60発競技　団体　1位
軟式野球部（名古屋）	中部日本学生軟式野球連盟平成30年度春季リーグ戦　1部リーグ優勝　ベストマネージャー賞 第41回全日本学生軟式野球選手権大会　ベスト8 中部日本軟式野球連盟平成30年度秋季リーグ戦　1部リーグ準優勝 第39回東日本学生軟式野球選抜大会　ベスト4
弓道部	第61回東海学生弓道選手権大会　女子団体　優勝、射道優秀校 第51回愛知県下学生弓道選手権大会　女子団体　優勝 第30回全国大学弓道大会　出場 第62回東海学生弓道秋季女子リーグ　団体一部　優勝 第42回全日本学生弓道女子王座決定戦 第42回女子東西学生弓道選抜対抗試合　出場

◆スポーツの部〈団体〉　奨励賞（14団体）

団体名	顕彰事項
カヌー部	第7回帆船日本丸カヌーポロ大会　優勝
空手道部	第54回和道会全国空手道競技大会　組手大学生男子団体　第3位
競技スキー部	第25回よませ全国学生スキーチャンピオンシップ　団体男子の部　第2位
剣道部	第37回全日本女子学生剣道優勝大会　出場
柔道部	第67回全日本学生柔道優勝大会　出場 第20回全日本学生柔道体重別団体優勝大会　出場
ソフトテニス部	平成30年度秋季東海学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦大会　男子4部　優勝　（3部昇格）
卓球部	平成30年度東海学生卓球春季リーグ戦　男子2部　1位　（1部昇格） 第88回全日本大学総合卓球選手権大会・団体の部　女子団体　出場
男子バスケットボール部	第89回東海学生バスケットボールリーグ戦　2部リーグ　1位（1部昇格）
バドミントン部	第127回東海大学バドミントン選手権大会　男子2部　2位　（1部昇格）
男子バレーボール部（名古屋）	2018年度第15回愛知大学男女バレーボールリーグ戦　春季大会　男子3部　優勝（2部昇格）
モーターサイクル部	2018 キャンパスオフロードミーティング全国大会　3位
水泳部	第39回中部学生短水路選手権水泳競技大会　女子4×100m フリーリレー　タイムレース決勝 2位 第94回日本学生選手権水泳競技大会　男子4×100mフリーリレー　出場
男子バレーボール部（豊橋）	第15回愛知県大学男女バレーボールリーグ1部　春季大会　男子1部優勝 第71回秩父宮賜杯全日本バレーボール大会大学男子選手権大会　出場
ハンドボール部	第61回高松記念杯全日本学生選手権　平成30年度全日本ハンドボール選手権大会　出場

◆スポーツの部〈個人〉　最優秀奨励賞（9名）

氏名	学部・学年	部会名	顕彰事項
伊藤　瑠威	法学部2年	空手道部	WADOKAI ALL NATIONS CHAMPIONSHIPS 2018　UNDER 21 years old MALE KATA 1st
田中　大地	経営学部2年	柔道部	平成30年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会愛知県予選会　73kg 級　優勝 JOC ジュニアオリンピックカップ　全日本ジュニア体重別選手権大会東海地区予選　73kg 級　優勝 第37回東海学生柔道体重別選手権大会　73kg 級　優勝 JOC ジュニアオリンピックカップ　平成30年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会　出場 第37回全日本学生柔道体重別選手権大会　73kg 級　出場 アジア柔道オープン香港大会　73kg 級　準優勝
鈴木　天斗	国際コミュニケーション学部1年	柔道部	平成30年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会愛知県予選会　66kg 級　優勝 JOC ジュニアオリンピックカップ　全日本ジュニア体重別選手権大会東海地区予選　66kg 級　準優勝 第15回湊谷杯全国学生柔道体重別選手権大会　66kg 級　優勝
林　亜弥音	法学部4年	少林寺拳法部	第54回少林寺拳法東海学生大会　自由組演武　初段の部　第一位　女子自由単独演武　初段の部　第一位 第52回少林寺拳法全日本学生大会　組演武　男女初段の部　第二位
加藤　達吉	法学部3年	少林寺拳法部	第54回少林寺拳法東海学生大会　自由組演武　初段の部　第一位　男子自由単独演武　初段の部　第二位 第52回少林寺拳法全日本学生大会　組演武　男女初段の部　第二位
馬場　統規	経済学部3年	少林寺拳法部	第54回少林寺拳法東海学生大会　自由組演武　二段以上の部　第二位 2018年愛知県少林寺拳法大会　大学生男子の部　最優秀賞 2018年少林寺拳法全国大会 in ぐんま　出場 第52回少林寺拳法全日本学生大会　三人掛けの部　第一位
水野　功教	経営学部3年	少林寺拳法部	第54回少林寺拳法東海学生大会　自由組演武　二段以上の部　第一位 第52回少林寺拳法全日本学生大会　三人掛けの部　第一位
田家　涼太郎	経済学部2年	少林寺拳法部	第54回少林寺拳法東海学生大会　自由組演武　二段以上の部　第一位　男子立合評価法　第一位　自由単独演武　二段以上の部　第一位 第52回少林寺拳法全日本学生大会　三人掛けの部　第一位
堀内　弥花	文学部3年	弓道部	第61回東海学生弓道選手権大会　女子個人優勝、射道優秀賞、皆中賞 第66回全日本学生弓道選手権大会　女子個人予選出場 第62回東海学生弓道秋季女子リーグ　個人優勝、対中部大戦 皆中賞 第73回国民体育大会弓道競技　　近的成年女子第１位（愛知県チーム優勝） 第42回全日本学生弓道女子王座決定戦　第42回女子東西学生弓道選抜対抗試合　女子西軍的中率　第２位

◆スポーツの部〈個人〉　優秀奨励賞（16名）

氏名	学部・学年	部会名	顕彰事項
瀬尾　洸太朗	法学部3年	剣道部	第66回全日本学生剣道選手権大会　出場 第65回全日本学生剣道東西対抗試合　優秀選手賞
酒井　里奈	経営学部2年	ゴルフ部	第48回中部学生ゴルフ選手権競技　1位 第55回日本女子学生ゴルフ選手権競技　出場 第22回愛知県学生ゴルフ選手権競技　2018コカ・コーラボトラーズジャパン杯争奪　1位 第21回朝日杯争奪日本女子学生ゴルフ選手権　出場 文部科学大臣杯争奪第1回日本女子学生ゴルフ王座決定戦　出場
山本　真生	経営学部1年	ゴルフ部	第45回 CBC テレビ杯争奪マッチプレー選手権競技　1位
荘田　巧登	国際コミュニケーション学部3年	柔道部	第65回東海学生柔道夏季優勝大会　優秀選手賞 第15回湊谷杯全国学生柔道体重別選手権大会　73kg 級　3位
黒氏　大輝	法学部1年	柔道部	第15回湊谷杯全国学生柔道体重別選手権大会　90kg 級　3位
舞田　和己	経営学部1年	柔道部	平成30年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会愛知県予選会　55kg 級　優勝 JOC ジュニアオリンピックカップ　全日本ジュニア体重別選手権大会東海地区予選　55kg 級　優勝 JOC ジュニアオリンピックカップ　平成30年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会　ベスト8
水野　大和	国際コミュニケーション学部3年	準硬式野球部	平成30年度東海地区大学準硬式野球連盟　春季リーグ戦　首位打者賞　本塁打賞　ベストナイン（一塁手）　打率ベストテン（第1位）
松井　啓宥	法学部1年	少林寺拳法部	第54回少林寺拳法東海学生大会　自由組演武　初段の部　第二位　男子自由単独演武　初段の部　第一位 第52回少林寺拳法全日本学生大会　組演武　男子初段の部　出場
濱野　天暢	経営学部4年	水泳部	平成30年度中部学生短水路選手権水泳競技大会　男子100m　自由形　T 決勝1位 第94回日本学生選手権水泳競技大会　男子50m　自由形　出場　男子100m　自由形　出場
前田　美由姫	現代中国学部4年	モーターサイクル部	2018 キャンパスオフロードミーティング全国大会　スプリント学生中級　2位
神谷　実	経営学部1年	ライフル射撃部	平成30年度秋季中部学生ライフル射撃記録会　10m ビームライフル立射60発競技　1位
粟倉　和寿	法学部2年	軟式野球部（名古屋）	中部日本学生軟式野球連盟平成30年度秋季リーグ戦　盗塁王賞
藤島　健喜	法学部2年	軟式野球部（名古屋）	中部日本学生軟式野球連盟平成30年度春季リーグ戦　最優秀選手賞 中部日本学生軟式野球連盟平成30年度秋季リーグ戦　ベストナイン賞（外野手）
森　一馬	経営学部2年	軟式野球部（名古屋）	中部日本学生軟式野球連盟平成30年度春季リーグ戦　最優秀投手賞
松枝　暢希	文学部2年	馬術部	第27回愛知学生トライアル競技会　障害飛越競技80　優勝
石川　陽一	地域政策学部2年	陸上競技部	秩父宮賜杯 第50回全日本大学駅伝対校選手権記念大会　東海選抜チーム第7区走者

◆スポーツの部〈個人〉　奨励賞（55名）

氏名	学部・学年	部会名	顕彰事項
松下　力也	法学部3年	空手道部	平成30年度東海地区大学空手道選手権大会　男子個人組手　65～70kg 未満準優勝
加藤　日奈子	経営学部4年	競技スキー部	第45回全国学生岩岳スキー大会（本選）　女子ジャイアントスラローム　出場　女子スラローム　出場
赤堀　功季	国際コミュニケーション学部3年	競技スキー部	第25回よませ全国学生スキーチャンピオンシップ　男子回転の部　第5位
田中　駿亮	文学部2年	競技スキー部	第25回よませ全国学生スキーチャンピオンシップ　男子大回転の部　第4位
片神　明信	法学部2年	剣道部	第66回全日本学生剣道選手権大会　出場
嶋貫　友紀	経営学部3年	ゴルフ部	第48回中部学生ゴルフ選手権競技　2位 第55回日本女子学生ゴルフ選手権競技　出場
月野　晃士朗	経営学部4年	柔道部	第37回全日本学生柔道体重別選手権大会　90kg 級　出場
本田　航	国際コミュニケーション学部4年	柔道部	愛知県護国神社奉讃　第26回愛知県段別柔道選手権大会　男子参段の部　優勝
中尾　武史	経営学部3年	柔道部	第37回全日本学生柔道体重別選手権大会　100kg 級　出場
村松　恒太	経営学部3年	柔道部	第37回全日本学生柔道体重別選手権大会　81kg 級　出場
杉浦　冬唯	経済学部1年	柔道部	第37回東海学生柔道体重別選手権大会　60kg 級　準優勝 第37回全日本学生柔道体重別選手権大会　60kg 級　出場
澤田　翔	現代中国学部2年	準硬式野球部	平成30年度東海地区大学準硬式野球　秋季リーグ戦　本塁打賞
加藤　壱馬	法学部4年	少林寺拳法部	第52回少林寺拳法全日本学生大会　組演武　男女初段の部　出場
長江　宏奈	経済学部4年	少林寺拳法部	第54回少林寺拳法東海学生大会　自由組演武　二段以上の部　第二位 2018年愛知県少林寺拳法大会　大学生男子の部　最優秀賞 2018年少林寺拳法全国大会 in ぐんま　出場
平瀬　将成	経営学部4年	少林寺拳法部	第54回少林寺拳法東海学生大会　自由組演武　初段の部　第二位 第52回少林寺拳法全日本学生大会　組演武　男子初段の部　出場
溝口　華子	法学部2年	少林寺拳法部	第54回少林寺拳法東海学生大会　女子自由単独演武　初段の部　第二位
高林　沙奈	経営学部2年	少林寺拳法部	第52回少林寺拳法全日本学生大会　組演武　男女初段の部　出場
門田 萌	文学部4年	少林寺拳法部	2018年少林寺拳法全国大会 in ぐんま　大学生女子の部　出場
横田真優	文学部4年	少林寺拳法部	2018年少林寺拳法全国大会 in ぐんま　大学生女子の部　出場
朝倉　拓郎	経営学部3年	卓球部	平成30年度東海学生卓球春季リーグ戦　敢闘賞
大岩　咲帆	現代中国学部1年	卓球部	平成30年度東海学生卓球春季リーグ戦　新人賞
芝脇　創太	経済学部4年	中国武術部	2018年愛知県武術太極拳大会　一般部門　男子長拳　第1位
川本　崚介	法学部4年	ライフル射撃部	平成30年度秋季中部学生スポーツ射撃記録会　10m エアライフル男女ミックス競技　2位 平成30年度全日本大会学生スポーツ射撃選手権大会　10m エアライフル立射60発競技　出場
鈴木　秀哉	経営学部3年	ライフル射撃部	平成30年度全日本大会学生スポーツ射撃選手権大会　10m エアライフル立射60発競技　出場
鈴木　美緒	経済学部2年	ライフル射撃部	平成30年度秋季中部学生スポーツ射撃記録会　10m エアライフル男女ミックス競技　2位

氏名	学部・学年	部会名	顕彰事項
粥川　景梧	法学部3年	陸上競技部	第35回愛知六大学対抗陸上競技大会　男子100m　1位
志治　嘉崇	法学部3年	陸上競技部	第35回愛知六大学対抗陸上競技大会　男子1500m　1位 第46回名古屋地区陸上競技選手権大会　男子1500m　第1位
原塚　錬	法学部2年	陸上競技部	第35回愛知六大学対抗陸上競技大会　男子砲丸投げ　1位
間瀬　智哉	経営学部2年	陸上競技部	第65回尾張陸上競技選手権大会　男子3000mSC　1位
今村　洸揮	法学部2年	軟式野球部（名古屋）	中部日本学生軟式野球連盟平成30年度春季リーグ戦　ベストナイン賞（三塁手）
岡部　駿宏	経済学部2年	軟式野球部（名古屋）	中部日本学生軟式野球連盟平成30年度秋季リーグ戦　優秀選手賞
松井　良樹	文学部2年	弓道部	第66回全日本学生弓道選手権大会　　男子個人予選出場
服部　未歩	地域政策学部2年	弓道部	第66回全日本学生弓道選手権大会　女子個人予選出場
岩波　広弥	短期大学部学部2年	弓道部	第66回全日本学生弓道選手権大会　女子個人予選出場
出村　萌里	法学部1年	弓道部	第66回全日本学生弓道選手権大会　女子個人予選出場
吉口　琉斗	文学部1年	弓道部	第66回全日本学生弓道選手権大会　男子個人予選出場
越智　渚	短期大学部学部1年	弓道部	第66回全日本学生弓道選手権大会　女子個人戦決勝　第10位
小島　直也	文学部4年	硬式ソフトボール部	中京テレビ杯平成30年度春季第82回東海地区大学ソフトボールリーグ戦（男子）　盗塁賞
服部　晋也	地域政策学部4年	硬式野球部	愛知大学野球春季リーグ戦　ベストナイン賞　一塁手
緒方　彰一	地域政策学部3年	硬式野球部	愛知大学野球春季リーグ戦　ベストナイン賞　投手
安田　悠馬	地域政策学部1年	硬式野球部	愛知大学野球春季リーグ戦　新人賞
観音寺　将平	地域政策学部4年	硬式野球部	愛知大学野球秋季リーグ戦　ベストナイン賞　捕手
中村　胤哉	地域政策学部4年	硬式野球部	愛知大学野球秋季リーグ戦　ベストナイン賞　外野手
長谷部　大器	地域政策学部3年	硬式野球部	愛知大学野球秋季リーグ戦　ベストナイン賞　遊撃手
渡邉　智也	地域政策学部3年	軟式野球部（豊橋）	中部日本学生軟式野球秋季リーグ戦　打撃賞
北野　成哉	文学部2年	軟式野球部（豊橋）	中部日本学生軟式野球秋季リーグ戦　ベストナイン　捕手
長谷川　渉	地域政策学部2年	軟式野球部（豊橋）	中部日本学生軟式野球秋季リーグ戦　ベストナイン　外野手
岩井　謙治	地域政策学部2年	軟式野球部（豊橋）	中部日本学生軟式野球秋季リーグ戦　ベストナイン　一塁手
杉浦　清建	文学部3年	馬術部	第61回全日本学生賞典総合馬術競技大会　総合馬術競技大会（馬場馬術競技、クロスカントリー競技）出場
早川　丈	文学部2年	馬術部	第45回愛知学生馬術競技会　障害飛越競技80　準優勝
榊原　茂樹	地域政策学部4年	ハンドボール部	平成30年度東海学生ハンドボール春季リーグ戦　男子一部　ベストセブン
安藤　亮治	文学部4年	ヨット部	2018年度全日本学生ヨット個人選手権大会　470クラス　出場
深谷 旭宏	国際コミュニケーション学部3年	ヨット部	2018年度全日本学生ヨット個人選手権大会　470クラス　出場
小田 ちひろ	文学部2年	ヨット部	第27回全日本学生女子ヨット選手権大会　470クラス　出場
小野　彩	文学部1年	ヨット部	第27回全日本学生女子ヨット選手権大会　470クラス　出場

◆マネージャーの部　奨励賞（6名）

氏名	学部・学年	部会名	顕彰事項
宮田　佳奈	経営学部4年	男子バスケットボール部	男子バスケットボール部のマネージャーを4年間務め、練習での選手サポート、事務的な書類の手続き作業を行った。 また、遠征試合、公式戦、練習試合、合宿にも同行し、選手のサポートを事細かく行った。 さらに、マネージャーが不在の女子バスケットボール部のマネージャーの仕事を手伝ってくれた。
鴛海　ほのか	地域政策学部4年	硬式ソフトボール部	第80回中京テレビ杯平成29年度春季東海地区大学ソフトボールリーグ戦においてベストマネジメント賞を、第81回東海地区大学（男子）ソフトボールリーグ戦大会にてベストスコアラー賞を受賞し、硬式ソフトボール部の躍進に大いに貢献した。
早川　幸佑	地域政策学部4年	硬式野球部	4名とも4年間チーム内は勿論、愛知大学野球連盟の広報担当としても貢献した。石田広報担当代表をはじめ、皆が報道関係者とのやり取りや、連盟公式ホームページの作成の段取り、愛知大学硬式野球部70周年の準備など球場内外で活躍した。また、早川は学生委員長として連盟全体を纏め上げ、全国大会のサポートメンバーも務め上げた。
石田　敬典	地域政策学部4年		
繁田　優香	地域政策学部4年		
大村　紗旺里	地域政策学部4年		

◆学術・文化の部〈団体〉　最優秀奨励賞（1団体）

団体名	活動内容	顕彰事項
軽音楽部	第49回 YAMANO BIG BAND JAZZ OCNTEST ①16位 ②ベストランクアップ賞 ③来年度シード権獲得 備考：予選あり（第49回 YAMANO BIG BAND JAZZ CONTEST 西日本予選）	このコンテストは全国の大学のビッグバンドが競うわが国ではもっとも権威のある大会である。今年は西日本予選を勝ち抜き本選に出場し、35のバンド中16位となった。20位以内に与えられる来年度出場のシード権を獲得したうえ、本選に進めなかった昨年からの大躍進を示したということでベストランクアップ賞も受賞した。
	第10回国際ジャズオーケストラ・フェスティバル ～ステラジャム～ ①ステラジャムノミニーワ（上位7団体） ②ステラジャムチャンピオン（第1位）	国際ジャズオーケストラ・フェスティバル（ステラジャム）の大学ジュニアバンド部門は、全国の大学の「3年生以下またはレギュラーバンドに所属していない15名以上のビッグバンド」が参加資格となっており、これからレギュラーを目指す若手プレーヤーの登竜門となるコンテストである。また、審査員である6名の現役ミュージシャンが各団体の演奏中に発するコメントをリアルタイムで録音し、それを審査の材料とするとともに、参加者への貴重なアドバイスとしても活用できるというユニークな審査方法をとっている。今年度のステラジャム大学生ジュニアバンド部門には早稲田、慶応、青山学院等の名門バンドを含めて全国から34バンドが出場し、そのなかでノミニー7（上位7団体）に選出され、さらに2年連続でステラジャムチャンピオン（総合第1位）の栄冠に輝いたことは、ブルースターズの若手の実力が全国トップレベルにあることを示すものであり、今後の飛躍を大いに期待できる。
	第13回東海ビッグバンドジャズコンテスト ①最優秀団体賞 ②最優秀セクション賞（トランペット） ③学バンアワード（第1位）	東海地区の各大学のビッグバンドが出場する本大会で、本年も5年連続で最優秀団体賞を受賞した。またトランペットセクションが最優秀セクション賞を受賞し、出場学生が相互に優秀バンドを選出する「学バンアワード」で今年度も第1位を得て、本学音楽部がこの地方でナンバーワンの実力バンドであることを今年も示すことができた。

◆学術・文化の部〈団体〉　奨励賞（1団体）

団体名	活動内容	顕彰事項
将棋同好会	平成30年度春季中部学生将棋団体戦 団体戦リーグ　B級　優勝（5勝1敗）A級昇格	平成30年度中部春季団体戦において、B級に参加した7大学中1位の成績を収め、同好会設立以来の悲願であったA級昇格を果たした。この大会は各大学が5人ずつの選手を出して5試合を行うことで、3人以上が勝てばその大学の勝利とする勝ち点によって順位を争い、勝ち点が同じ大学が出た場合には全30試合の延べの勝利数で順位を決める方式で行われた。1位の大学は無条件でA級昇格が決まり、2位の大学はA級5位のチームとの入れ替え戦を行い、その結果次第でA級に昇格できる可能性がある。特に、勝ち点5が2大学・勝ち点4が2大学という各大学の実力が拮抗した本大会において、本同好会が得た勝ち数21は、勝率として7割に達し、勝ち点5で並んだ2位の愛知工業大学の勝ち数19を2つも上回ったことは特筆すべきことである。また，入れ替え戦の結果として、A級に昇格できた大学は愛知大学のみであったことも併せて記しておきたい。以上のことから、本同好会の成績は十分に奨励賞に値すると考える。

◆学術・文化の部〈個人〉　優秀奨励賞（4名）

氏名	学部・学年	部会名	顕彰事項
柴田　洋介	法学部3年	テコンドーサークル	第23回東海テコンドー選手権大会 マッソギ　成年男子Ⅱ部　ライト級 優勝
伊東　葵	法学部3年	テコンドーサークル	第23回東海テコンドー選手権大会 マッソギ　成年男子Ⅱ部　マイクロ級　優勝
白井　隆登	法学部1年	テコンドーサークル	第23回東海テコンドー選手権大会 マッソギ　成年男子Ⅱ部　ミドル級　優勝
鈴木　由芽奈	法学部1年	テコンドーサークル	第23回東海テコンドー選手権大会 トゥル　成年女子　黄帯の部　準優勝 マッソギ　成年女子Ⅱ部　マイクロ級　優勝

◆学術・文化の部〈個人〉　奨励賞（3名）

氏名	学部・学年	部会名	顕彰事項
小川　晃平	法学部4年	軽音楽部	第13回東海ビッグバンドジャズコンテスト 優秀ソリスト賞（ピアノ）
藤本　紗綾	経営学部3年	軽音楽部	第10回国際ジャズオーケストラフェスティバル ベストドラム賞（ドラム） CJC 賞（ドラム）
大谷　晃平	現代中国学部3年	テコンドーサークル	第23回東海テコンドー選手権大会 マッソギ　成年男子Ⅱ部　マイクロ級　準優勝

●スポーツの部…団体19団体／個人78名　●マネージャーの部…6名　●学術・文化の部…団体1団体／個人7名

2018年度　同窓会奨励賞受賞者一覧

●最優秀奨励賞

個　人

近藤（こんどう）　誠宏（まさひろ）氏 | 1964年法経学部経済学科卒業



二科会写真部理事長として写真芸術の振興に尽力

◆ 推薦趣旨 ◆

近藤誠宏氏は1941年岐阜市にて出生、1960年岐阜県立岐阜商業高校を卒業、写真家の実父から、当時の若手を代表する写真家の東松照明氏が卒業された愛知大学に行くよう教えられ、愛知大学に入学と同時に写真部に入部。1964年愛知大学を卒業後、上京し広告代理店フォトフレームに就職、2年後の1966年帰郷、父親と共に写真活動をはじめ、同時に二科会写真部活動を開始。1973年日本写真家協会に入会し、初個展を銀座ニコサロンにて開催、その後、サイパン、テニアン島の戦没者遺骨収集記録に従事、そして数々の個展を開催、1992年岐阜県芸術文化活動特別奨励賞受賞、1998年から岐阜県の「美濃の地歌舞伎」を岐阜新聞社から出版、2012年ぎふ清流国体公式撮影組織を統轄、2012年二科会写真部理事、2016年常任理事、岐阜県芸術文化顕彰を受賞、2018年二科会写真部理事長に就任、2019年「第69回岐阜新聞大賞」（文化部門）を受賞。多くの写真愛好家を指導し写真芸術の振興に尽力、作品集を通じ岐阜県の伝統文化の顕彰に積極的に取り組み、岐阜県の文化振興にも多大な貢献をしておられます。近藤誠宏氏は愛知大学の卒業生として、写真芸術の振興、写真を通した文化の発展に貢献され、二科会写真部の理事長に就任、幅広い文化貢献活動が認められ、岐阜新聞大賞等、数々の受賞をしておられ、愛知大学の栄誉を高め、写真分野の発展と文化の振興に寄与しておられます。

◇ 略歴 ◇　1960年岐阜県立岐阜商業高校卒業、1964年愛知大学法経学部卒業、1964年フォトフレームに就職、1966年実父が経営するカメラノコンドウに入社、1992年岐阜県芸術文化活動特別奨励賞受賞、2012年二科会写真部理事、2016年二科会写真部常任理事、2018年二科会写真部理事長に就任、2019年岐阜新聞大賞受賞。

古市（ふるいち）　豊裕（とよひろ）氏 | 2002年法学部卒業



軟式野球 福井県代表としてスポニチ杯優勝

◆ 推薦趣旨 ◆

準硬式野球部に在籍した古市氏は、2002年に愛知大学を卒業後、故郷福井のセーレン株式会社に入社、会社では軟式野球部にも所属社業以外に活躍の場を広げました。5年前2014年には監督も兼務し、同社野球部を福井県の強豪チームに育て上げました。昨年2018年には多くの全国大会に出場し、国体ベスト４、天皇賜杯準優勝、スポニチ杯では見事優勝の栄誉を勝ち取りました。社業に加え野球部の監督・選手の三足のわらじを履き、更に中体連・高体連と連携して野球教室の開催や少年野球チームの練習受け入れなど活躍の場を社外、地域社会まで広げ貢献していることは見事と称賛するほかはありません。古市氏言動の背景には愛大野球部での活動を通じて身に付けた「考えて行動する」哲学があるようです。愛知大学で学び培った生き方を北陸の地で実践している古市氏の姿に共感致します。また自身や準硬式野球部の励みにとし、範と致したいと思います。古市氏の活躍は愛大関係者の誇りでもあり、奨励賞に値するものと確信します。

◇ 略歴 ◇　国民体育大会に福井県代表として10度出場。昨年の地元開催、福井しあわせ元気国体では代表チームの監督として県勢初の4位に入賞。福井県の天皇杯獲得（総合優勝）に貢献した。
2009年 天皇賜杯 第64回全日本軟式野球大会優勝（主将）、2018年 天皇賜杯 第73回全日本軟式野球大会準優勝（監督）、2018年 スポニチ杯 第2回全日本軟式大学野球大会優勝（監督）。
愛知大学在学中: 2000年 第52回全日本大学準硬式野球選手権大会 ベスト4入り（主将）。1999年 第18回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会優勝。
◇受賞歴◇　2018年福井国体 優秀指導者賞〈個人〉。2009年 第59回日本スポーツ賞 競技団体特別優秀賞〈団体〉。

田中（たなか）　大地（だいち）氏 | 経営学部２年



香港アジアオープン国際柔道大会で準優勝

◆ 推薦趣旨 ◆

候補者は、不断の努力と自己研鑽を続け、東海学生柔道大会（個人体重別）で2連覇、東海ジュニア柔道大会（同）で3連覇を果たした。この結果が評価され、東海地区の代表として全日本学生柔道選手団の一員に選抜され、香港で開催されたアジアオープン国際柔道大会73ｋｇ級に出場した。同大会では、2020年の東京オリンピック出場に向けて各国の選手が世界ランクを上げるためのポイント（1位100ポイント、2位70ポイント、3位50ポイント）獲得に必死に取り組む中、各国代表の選手を次々に破って決勝戦まで進出した。決勝戦では、タジキスタンの選手に僅差で敗れたものの、準優勝を果たした。この試合結果等は、新聞でも報道され大きな反響を呼んだ。上記の理由により候補者の活動は愛知大学（柔道部）の名誉を高めたもので、大きく評価できる。

◇ 略歴 ◇　愛知真和学園大成高等学校出身。愛知大学 経営学部 経営学科2年在籍中。
◇ 実績 ◇　2015・2016年　東海高校総合体育大会　81kg 級　優勝（二連覇）。2016年　全国高等学校総合体育大会（インターハイ）　団体5位、81kg 級5位。2016・2017・2018年　全日本ジュニアオリンピックカップ　愛知県大会、東海地区大会（三連覇）。2017・2018年　東海学生柔道体重別選手権大会　73kg 級・81kg 級　優勝

●優秀奨励賞

個　人

片山（かたやま）　理（さとし）氏 | 2009年国際コミュニケーション学部卒業



「全国実業団対抗テニス大会（団体戦）」において優勝

◆ 推薦趣旨 ◆

片山理氏は、大学在学中、硬式庭球部に所属し、個人戦では東海地区シングルスで準優勝、ダブルスで優勝、全国大会（インカレ）でも活躍、団体戦（リーグ戦）では主将として大学を代表し、1部リーグでエースとして活躍しました。

在学中から、故郷の長野県の代表として「国民体育大会」にも出場、2007年秋田大会、2008年大分大会ではベスト16の好成績をおさめました。国際コミュニケーション学部を卒業後、オーエスジー株式会社（東海地区で強豪の実業団テニスチーム）から、全国の大学から強豪選手を採用する中、スカウトによりご縁をいただき、愛知大学からは初めて選手として採用されました。そして、全国から強豪チーム、選手が集う中、2012年には「全国社会人テニス選手権大会（団体戦）」において、主力選手として活躍し、みごとに優勝を果たしました。（2013年、2014年にも準優勝）また、「全国実業団対抗テニス大会（団体戦）」においても、主力選手として活躍し、2012年にはベスト8、2013年、2014年と2年連続して優勝を果たしています。個人戦においては、全日本選手権長野県予選において準優勝という成績を収めました。

さらに、昨年からは愛知大学硬式庭球部のコーチに就任、現役生の模範となり、レベルアップに尽力してくれています。在学中から現在に至るまで、テニスを通じて、愛知大学の知名度のアップに貢献し、今後も愛知大学硬式庭球部のために尽力してくれることが期待できます。

◇ 略歴 ◇　東海学生テニス連盟主催大会 シングルス準優勝 ダブルス優勝。インカレダブルスベスト32。2008年度東海学生 MVP 選出

伊熊　梨帆氏 | 短期大学部２年



サービス接遇検定準1級　優秀賞受賞

◆ 推薦趣旨 ◆

候補者の伊熊梨帆は、文部科学省後援実務技能検定協会主催のサービス接遇検定において準1級に合格し、さらに極めて優秀な者に贈られる、準1級ではトップである優秀賞にも選出された。この賞は全国の約5千700人の受験者のうち1%未満しか受賞できないものである。サービス接遇検定は「サービスマインドの育成」を掲げているが、この授業を履修して身につけた知識・能力を学生生活や就職活動にも活かしている。たとえば、オープンキャンパス等の入試広報の場でも学生生活の発表を積極的に引き受けるなど、そのサービス精神を発揮して貢献してくれた。4月からは静岡トヨペット株式会社への就職が決定しており、社会に出た時にもその力を発揮してくれるものと考える。また、当該学生は1年次には秘書検定準1級も取得しており、社会人となってからも一層の活躍が期待できる。

◇ 略歴 ◇　2017年3月静岡県立浜松南高校卒業。2017年4月愛知大学短期大学部ライフデザイン総合学科入学。2017年12月聴き力検定3級合格。2018年1月秘書技能検定準1級合格。2018年8月サービス接遇検定準1級合格　優秀賞受賞。

●奨励賞

個　人

伊藤　義人氏 | 1960年法経学部経済学科卒業



青少年の健全育成活動に尽力青少年の健全育成活動に尽力

◆ 推薦趣旨 ◆

伊藤義人氏は教職員として務める傍ら、青少年の健全育成活動に取り組んでこられました。明るい地域づくりに貢献されたことは、同窓生として喜ばしいかぎりです。1998年3月　教職員を退職して、地域自治会を通じ、社会貢献活動を遣ってこられました。

◇ 略歴 ◇　愛知県田原町立田原中学卒業。徳島県立小松島高等学校卒業。愛知大学法経学部経済学科卒業。浜松経理専門学校奉職、同退職。在職中約30年浜松市青少年課の委嘱を受け青少年補導員を努める。

鈴木　郁男氏 | 1970年法経学部経営学科卒業



少年サッカーチーム蒲郡マリナーズ　設立

◆ 推薦趣旨 ◆

大学卒業後、少年サッカーチーム蒲郡 FC マリナーズ設立に尽力し代表として現在に至る（ホームページ有り）。公式審判員として活躍され、東海地区のインストラクターを歴任。愛知県サッカー協会常任理事。

◇ 略歴 ◇　1970年法経学部経営学科卒業

●最優秀奨励賞

団　体

土屋ゼミナール | 長谷川 公充子・高橋 雅直・梅田 飛翔



ビジネスプレゼンテーションコンテスト「外食インカレ2018」において金賞（優勝）を獲得

◆ 推薦趣旨 ◆

一般社団法人名古屋フードサービス協会、日本フードサービス学会主催のビジネスプレゼンテーションコンテスト『外食インカレ2018』（1次審査：8月31日 /2次審査：10月12日 / 最終審査：11月17日）に出場し、金賞（優勝）を獲得しました。初の開催となる本年度の大会には日本全国から138チーム計415名の大学生と大学院生が参加しました。最終選考に残った6チームはすべて現在外食産業が抱えている諸問題を様々な角度から分析し、具体的な解決方法を提案するものでした。日本を代表するフードチェーンのトップマネジメントの方々が審査員となり、学生のプレゼンテーションに対し、現実的なビジネスの視点からレベルの高い質問を次々と投げかけました。金賞を受賞したチームは「社会インフラとしての外食産業　セルフケア外食―日本国民の健康を管理する―」というテーマで『外食産業を利用しなければ健全な栄養管理はできない』という仕組みをいかに実現するかについてのビジネスモデルを提案しました。個別企業のみならず外食産業全体で共有できる新たなプラットフォームの構築を提案したことが高く評価されました。今回の愛知大学の金賞受賞は“外食インカレ初代王者”という記念すべきタイトル獲得となりました。

●優秀奨励賞

団　体

為廣ゼミナール「さんぶんのご」| 尾太 有輝・川嶋 麻友・末宗 紗季・藤原 沙月・池田 すもも



名古屋マーケティング・インカレ優勝

◆ 推薦趣旨 ◆

名古屋マーケティング・インカレは、名古屋近隣大学のマーケティング研究を行うゼミナールが参加する研究発表大会で、2006年から毎年開催されており、学生が大学を越えて交流をもち、研究を深めあうことを目的としている。2018年度は第13回大会が開催され、6大学（愛知大学、愛知学院大学、愛知淑徳大学、名城大学、名古屋学院大学、愛知工業大学）、8ゼミナールの学生（約140人、30チーム）が参加した。為廣ゼミナールでは、毎年、数名のチームに分かれて名古屋マーケティング・インカレに参加しており、2018年度はこのうちのチーム「さんぶんのご」が「家庭における食料備蓄を増やすには」という研究テーマで参加し、最優秀賞（1位）に選ばれた。

土屋ゼミナール | 加治 玲実・田中 ゆかり・文井 大地



ビジネスプレゼンテーションコンテストで「外食インカレ2018」において奨励賞（4位）を獲得

◆ 推薦趣旨 ◆

一般社団法人名古屋フードサービス協会、日本フードサービス学会主催のビジネスプレゼンテーションコンテスト『外食インカレ2018』（1次審査：8月31日 /2次審査：10月12日 / 最終審査：11月17日）に出場し、奨励賞（4位）を獲得しました。初の開催となる本年度の大会には日本全国から138チーム計415名の大学生と大学院生が参加しました。最終選考に残った6チームはすべて現在外食産業が抱えている諸問題を様々な角度から分析し、具体的な解決方法を提案するものでした。日本を代表するフードチェーンのトップマネジメントの方々が審査員となり、学生のプレゼンテーションに対し、現実的なビジネスの視点からレベルの高い質問を次々と投げかけました。奨励賞を受賞したチームは「朝食 PASS ～朝をデザインし残業ゼロへ～」というテーマで臨みました。『従業員が毎朝規則正しく朝食を摂取することが企業の生産性向上につながる」という前提を各種分析から証明し、企業の福利厚生の一環としての朝食のあり方についてのビジネスモデルを提案しました。現在、朝食市場を十分に獲得できていない外食産業の課題に挑戦したしたことが証明されました。

●奨励賞

団　体

田中ゼミナール「おろしぽんず」 | 浅井 裕夢・鈴木 啓太・森下 篤也・鈴木 利奈・大山 綾海



名古屋銀行 PBL 型企画体験型 PG　優秀賞

◆ 推薦趣旨 ◆

本大会は、株式会社名古屋銀行と中部の6大学（本学、愛知淑徳大学、中京大学、名古屋学院大学、南山大学、名城大学）との人材育成における連携協定の一環として実施されたものである。今回のプログラムは、「『行ってみたい銀行』と思えるサービス・商品、および『付き合ってみたい銀行』と思えるサービス・商品」について提案するもので、6大学から代表の6チームが参加した。2018年10月20日（土）に名古屋銀行本店にて最終発表会が行われ、本チームは外国人を対象とした提案についてのプレゼンテーションを行い、審査の結果、優秀賞（準優勝）を獲得した。本活動は、企業との連携に基づく PBL（課題解決型）プログラムとして、本学の課外活動の向上に貢献した。また、この活動は HP 等で広報され、優秀賞の受賞により、本学の名誉を高めたと考えられる。

為廣ゼミナール「mono」 | 鈴木 茉衣・山口 夏輝・中島 未帆・川口 真吾



名古屋マーケティング・インカレ準優勝

◆ 推薦趣旨 ◆

名古屋マーケティング・インカレは、名古屋近隣大学のマーケティング研究を行うゼミナールが参加する研究発表大会で、2006年から毎年開催されており、学生が大学を越えて交流をもち、研究を深めあうことを目的としている。

2018年度は第13回大会が開催され、6大学（愛知大学、愛知学院大学、愛知淑徳大学、名城大学、名古屋学院大学、愛知工業大学）、8ゼミナールの学生（約140人、30チーム）が参加した。為廣ゼミナールでは、毎年、数名のチームに分かれて名古屋マーケティング・インカレに参加しており、2018年度はこのうちのチーム「mono」が優秀賞（2位）に選ばれた。

●クラブ愛知賞

団　体

愛知大学　名古屋教職サークル



子どもの未来応援プロジェクト「一人親家庭の子どもたちへのケア・学習支援ー」

◆ 推薦趣旨 ◆

教育において貧困が大きな問題となる中、特に教育格差が生まれやすいシングルマザー家庭の自立支援を展開している非営利団体とタイアップして、ボランティア活動を実施している。シングルマザーのシェアハウスに週2回訪問し、学習指導等のケアを行う他、季節行事では、夏のバーベキュー大会や冬のクリスマス会などにはシェアハウスの子どもたちだけでなく30組もの一人親家庭の親子が参加している。平成29年度に活動を開始して以来、延べ400名以上の学生が参加し、子どもたちからは「お兄さんやお姉さんと勉強したり遊べるのが楽しい。」「大きくなったら、愛知大学に入りたい」などの嬉しい声が寄せられている。教育格差が子どもの進学等に影響を及ぼすと言われており、こうした学習支援活動等により、学習の必要性や大学進学という進路を知ることにもなり、また、社会の多様性を学ぶことにもつながり、子どもたちの未来への夢を大きく育むものとなっている。

●同窓会資格試験合格者奨励賞

司法試験

長谷川　文哉
2018年3月修了



佐藤　浩庸
2017年3月修了



原　佑太
2016年3月修了

学生教育活動顕彰（後援会奨励賞、同窓会奨励賞、クラブ愛知賞）

概　要

愛知大学関係者（教職員、在学生等）および愛知大学の卒業生が、社会・文化・学術・芸術・スポーツ・社会貢献などの分野において活躍し、一定以上の成果をおさめた個人および団体に対し、その栄誉を称え、一層の励みとすることを目的に顕彰する。

給付金額

① 最優秀奨励賞：100,000円
② 優秀奨励賞　：　50,000円
③ 奨励賞　　：　30,000円
④ クラブ愛知賞：100,000円

＊個人には給付金額相当の記念品を贈呈する。

申請時期

1月末まで

出願資格

（学術・文化の部）
① 最優秀奨励賞：
　全国的な学術・文化活動並びに大会で特に優秀と認められ、愛知大学の栄誉を高めた個人及び団体
② 優秀奨励賞：
　中部、東海地区およびそれに準じた地区大会で優秀と認められ、愛知大学の栄誉を高めた個人及び団体
③ 奨励賞：
　上記以外の活動、大会で優秀と認められた個人及び団体

（スポーツの部）

	① 最優秀奨励賞	② 優秀奨励賞	③ 奨励賞
国際・全日本大会（予選あり）	優勝、準優勝、3位	4位－8位	出場者
国際・全日本大会（予選なし）	優　勝	準優勝、3位	4位－8位
中部・東海地区大会及びそれに準ずる大会		優　勝	準優勝
その他の大会			優　勝
マネージャー等			所属部の発展に貢献した者（卒業年次生）

（社会貢献の部）
① クラブ愛知賞：
　愛知大学に在学する学生や学生達で構成する団体で、顕著な社会貢献活動が認められた個人及び団体

必要書類

奨励賞推薦書

決定方法

後援会奨励賞は、愛知大学の教職員で構成される選考委員会（学生部委員会または運動部長協議会）にて選考し、愛知大学教育研修支援財団に出願された書類をもとに本財団の選考委員会で審査を行い、決定する。
同窓会奨励賞は、愛知大学同窓会より推薦のあった候補者を本財団の選考委員会で審査を行い、決定する。

同窓会資格試験合格者奨励賞

概　要

愛知大学教育研究支援財団が決めた資格試験（司法試験、公認会計士試験、弁理士試験、国家公務員総合職試験、司法書士試験、税理士試験）に合格した者に対して表彰し記念品を贈呈する。

金　額

30,000円相当の記念品

出願資格

愛知大学（大学院、学部、短大）に在学中または卒業した者で、当該の資格試験に今年度もしくは前年度中に合格した者

必要書類

① 資格試験奨励賞申請書
② 当該の資格試験に合格したことを証明する書類（写し）
③ 在学証明書または卒業（修了）証明書

決定方法

出願された書類をもとに、愛知大学教育研究支援財団での審査を経て決定する。

2018年度　公務員試験合格者奨励賞受賞者一覧

●報奨金額1万5千円（116名）

・国家一般職 32名・国税専門官 13名・労働基準監督官 5名・県職員29名
・警察職員 1名・名古屋市職員 8名・教員 26名・団体職員 2名

法学部	稲垣　孝祐
	川口　真和
	竹内　航平
	星野　貴大
	葛西　沙奈
	丸地　颯貴
	宮本　茉奈
	坂下恵里奈
	朝日　晴己
	山田　昌幸
	坂野　邦晃
	武藤　早耶
	井口　亜美
	山本　将大
	瀧　諒汰朗
	平野　悟司
	永田　光里
	天池　美妃
	加藤　柚美
	小山菜々子
	牧　里那子
	青山　可愛
	小崎祥太郎
	吉川　順也
	廣瀬　楓馬
	鈴木　愛美
	福山　夏生
	見田　旭宏
	川村　登哉
	福岡　照太
	飯尾　知樹
	川藤　汰貴
	吉田　　諒
	濱口　紗妃
	林　　真帆
	神原　　豊
	中尾　　聡
	伊藤　　駿
	石川　悠大

法学部	杉本　　梢
	岡崎　直紀
	野村　颯大
	八木雄一朗
	下山　裕大
	丹羽　暁紀
	田村　優斗
	大野　実紗
	井川　茉子
経済学部	星野　智史
	丹羽　亮介
	伊藤麻衣子
	稲田　　航
	渡邉　真伍
	鵜飼　貴恵
	山村　聖華
	成田　知規
	東郷　健也
	土方　健司
	杉浦　未樹
	藤井　輝一
	原　　知大
	堀　　優樹
	鈴木　佑典
	熊崎　遥一
	鈴木　健
	赤地祐香里
	新山　実久
	安田　成慶
	丹羽このみ
	松岡　毅
	栗本　敦之
	林　　勇人
	古市　大也
経営学部	村田　隼哉
	丹羽真里亜
	別府　拓人
	廣比　　徹
	児玉　智紀

経営学部	森　拓也
国際コミュニケーション学部	小栗　彩香
	木村　保之
	佐野　綾香
	三輪帆乃香
	中島江里子
	志村　弘一
文学部	近藤　彩香
	磯村　澪奈
	隅田　瑞生
	宇佐美祐馬
	竹田　彩乃
	石川　恵大
	海野　航希
	小川　華歩
	岡田　悠里
	渡邊　郁美
	石橋　直明
	尾島　薫
	磯貝　太一
	野田くるみ
	加藤　真彬
	鈴木　南帆
	富田　　舞
	杉村　亮磨
	中田　実優
	細川　響矢
	小川　華奈
	榊原　千尋
	中村　瑞希
地域政策学部	平野勇次朗
	佐藤　海斗
	中村茉佑香
	梶野　隆介
	升井　未来
	杉浦　聡美
	杉浦　文華
	鈴村　朋大

●報奨金額5千円（90名）

・警察職員 2名・市町村職員 56名・警察官 20名・消防士 6名・市町村立小中学校職員 6名

法　学　部	佐野　竜也
	鈴木　皓大
	北川　貴哉
	大岩由季菜
	北川　　陸
	鈴木　利奈
	大野　綾子
	島田　智史
	山下　綾華
	瀬戸口叶恵
	加藤　壱馬
	加田平彩夢
	山本　瑠璃
	江本　美紅
	林　　拓磨
	川角　光司
	長谷川元洋
	有働　浩輝
	大木　夕紀
	前田　泰伽
	浅井　菜那
	浅見　友美
	板垣　柚衣

法　学　部	稲垣　貴斗
経　済　学　部	世森　健太
	河合めぐみ
	大原　美早
	森下　　聡
	水谷　朱里
	清水　啓吾
	櫻井　光司
	金澤久留美
	林　　航平
	竹内　航介
	佐藤　寛之
	小野　裕弥
	田村　卓海
経　営　学　部	植川　　恵
	青地　美咲
	鈴木　喬也
	浅野　友里
現代中国学部	井奈波迪彦
	森本　敬子
	安井　滝一
国際コミュニケーション学部	熊谷　大輝
	長塚　優華

国際コミュニケーション学部	平澤　良祐
	本田　　航
	兼松　隆帆
	福山　綾望
文　学　部	堀内　雄介
	瀬川　　翼
	鈴木咲理菜
	野村つかさ
	吉田有梨江
	寺澤　光代
	和田侑香里
	八木　彩見
	堀内　祐弥
	山口　　涼
	武藤　愛佳
	山本　侑奈
	小田井美桜
	佐藤　大起
	池田　直暉
	古沢　　唯
	多田　智哉
地域政策学部	森　　雄大
	船戸　健太

地域政策学部	鈴木　絢海
	井口芽友可
	今井　悠貴
	長野　健二
	庄矢　風満
	加藤菜奈子
	堀田　雅之
	鈴木　　俊
	山内　　望
	稲葉和佳奈
	原　　健斗
	中須　優太
	竹下　　翔
	松井　　萌
	奥野　　貴
	瀬川　　駿
	川瀬　裕大
	渥美　雅暉
	中野　達貴
	森山　幸樹
大　学　院	前田　春香

2018年度　公務員試験合格者の報奨制度

2018年度の学部・短大・大学院在学生の公務員試験合格者については、以下の通り大学として表彰をいたします。

報奨金授与の条件

・愛知大学の学部・短大・大学院（博士後期課程および専門職大学院生を除く）在学生であること。
・2018年度の各種公務員試験に合格し、就職をすること。
・最短就業年限（学部４年、短大２年、大学院修士課程２年）を超える学生および９月卒業生も対象とする。
・合格証明書をキャリア支援課に提出すること。
・複数の公務員試験に合格した場合も、報奨金の重複授与はしない。

報奨金の授与の方法

・合格者は指定の期日までにキャリア支援課に申し出ること。
・３月に「愛知大学・後援会・同窓会 奨励賞授与式」を開催し、報奨金を授与する。
・万が一表彰式開催以降に決定した場合は、報奨金の授与はキャリア支援課が行う。

職種と報奨金金額

■１万５千円
・国家公務員総合職／一般職　・裁判所職員総合職／一般職
・国税専門官　・労働基準監督官　・財務専門官　・都道府県庁職員（行政職／専門科目含）
・名古屋市職員（事務職／専門科目含）　・都道府県警察職員（専門科目含）　・公立小中高等学校等教員採用試験
（注）地方上級職・警察職員で教養のみの試験（名古屋市行政職・愛知県行政Ⅱ等）の場合は５千円となる

■５千円
・都道府県庁職員（行政職／教養科目のみ）　・名古屋市職員（事務職／教養科目のみ）
・都道府県警察職員（教養科目のみ）　・市町村職員　・警察官　・消防官
・名古屋港管理組合　・国立大学法人等職員　・小中学校事務職員　・刑務官
・法務教官　・自衛隊幹部候補生
（注）一部の市役所職員（岐阜市、安城市、浜松市等）、小中学校事務職員などにおいて、専門科目を含む試験が実施されている場合でも、上記の職種については５千円となる。
（注）自衛官（一般曹候補生）は対象外とする。

※上記に記載されていない職種について、合格及び就職が決定した場合は、試験の難易度等の実情に合わせてキャリア支援課が決定する。

